

広報

# ただみ

4  
2023 月号

No. 635  
令和5年4月10日



満了  
はじめの言葉  
〇〇〇〇満了見紹介  
所長あいさつ  
米資祝辞  
米資紹介  
祝電披露  
記念品贈呈  
お祝いの言葉  
お別れの言葉  
保護者会長あいさつ  
お祝いのうた  
お別れのうた  
おわりの言葉



## 今月の表紙

### 【令和4年度満了児】

さくら組の皆さん、満了おめでとうござい  
ます。今回の表紙は、各保育所で満了を迎え  
た子たちを掲載いたしました。小学校でもみ  
んな仲良く、頑張ってください。

### 《特集》

卒業式・満了式	2～3
只見町役場機構改革	4～5
《News&flash》	9
《町の話》	10～13



## 只見高校・卒業式

県立只見高校の卒業式は3月1日に行われ、21人（うち山村教育留学生5人）が卒業を迎えました。式では、卒業生を代表し三瓶楓さんが卒業証書を受け取った後、鈴木莉子さんが在校生を代表し送辞を送りました。卒業生代表答辞は、岩佐優生さんが務め、「一人一人個性があって感じることは違います。自分のペースで進んでいってください」と在校生を激励し、「生まれてから側にいてくれてありがとう」と家族への感謝を伝えました。



▲代表して証書を受け取った三瓶さん



▲卒業おめでとうの笑顔



▶答辞を述べた岩佐さんは、山村教育留学生として只見高校に入学し、生徒会長を務めました

## 感謝の心と新たな希望を胸に学び舎を巣立つ

3月、町内の高校・中学校・各小学校の卒業式と各保育所の満了式が行われ、子どもたちが学び舎などを巣立ちました。今年度の卒業式は、一定の条件はあるもののマスクを外して卒業式等を挙行することができ、お互いの表情を目に焼き付けることができました。式中には、子どもたちが家族や先生、お世話になった人に感謝の想いを伝え、恩師や仲間、学び舎に別れを告げました。



▲答辞を述べる増田さん

## 只見中学校・卒業式

只見中学校の卒業式が3月13日に行われ、28人が学び舎に別れを告げました。式では、星英典校長先生から激励の言葉とともに全員に卒業証書が手渡され、その後三瓶蒼有介さんが在校生を代表して送辞を送りました。卒業生を代表して増田司さんが「只見中学校を在校生の皆さんに託します。さらに素敵で魅力的な学校にしてください。このクラスで過ごした3年間はとても充実した楽しい毎日でした。これからもずっと友達です。今までありがとう」と答辞を述べました。

▲修学旅行で訪れた和歌山県串本町の串本観光協会長の宇井さんから届けられた「大漁旗」に見守られ、校舎を旅立ちました



## 小学校・卒業式



▲明和小学校卒業生の皆さん

3月23日、町内各小学校の卒業式が行われ、只見小4人、朝日小4人、明和小11人がそれぞれ卒業を迎えました。

只見小では、卒業生全員が伊藤校長先生から卒業証書を受け取り、中学校生活の目標や将来の夢などを発表しました。その後、1人ずつ家族に花を手渡し、感謝の言葉を伝えました。卒業生の別れの言葉では、6年間の思い出とともに後輩や先生、保護者に感謝の言葉が述べられました。



▶朝日小学校卒業生のみなさん



▶只見小学校卒業生の皆さん

令和4年度

# 卒業式・満了式

## 保育所・満了式

3月27日、町内各保育所の満了式が行われ、只見保育所2名、朝日保育所10名、明和保育所5名の園児がそれぞれ満了となりました。

明和保育所では、証書を受け取った園児たちが保護者に向けて「パパ、ママ、いつも楽しく遊んでくれてありがとう！」など感謝を伝えました。最後は、花束を手に1人ずつ立派に退場し、保護者の皆さんが子どもたちの成長を肌で感じる満了式となりました。



▲只見保育所満了児の皆さん



▶明和保育所満了児の皆さん



▶朝日保育所満了児の皆さん

窓口の一元化と一貫したサポート体制を整える

# 4月1日から町組織の一部が変わりました



## 組織再編で限られた財源・人材を最大限に生かす

複雑かつ多様化する行政需要や、人口減少に伴う教育福祉対策など山積する課題の克服、まちづくりの根幹となる「只見ユネスコエコパーク」推進事業、持続可能な地域社会の構築などに対応するため、第5次只見町行政改革大綱を定め、その内容にもとづいて、4月1日から町の組織を再編しました。

組織機構の再編は、平成30年に実施してから5年ぶりとなり、行政経営の効率化と行政サービスの質の向上を目指す他、一貫した子育て教育行政の推進や空き家等を活用した定住促進などを目指します。今回の編成では、様々な行政課題に、限られた財源と職員数で最大限の効果が発揮できるように5課13係2室に再編成を行いました。振興センターを「公民館」に改め、新たに「中央公民館」を設置しました。また、教育委員会に「子ども未来係」を設置します。なお、その他詳細につきましては、次ページの表をご覧ください。

## 組織機構再編の4つのポイント

1

### 振興センターの公民館機能の強化

各振興センターを「公民館」とし、新たに「中央公民館」を設置します。公民館同士の横の繋がりを強固にすることに加え、教育委員会で担当していた生涯学習の面を公民館が主管し、町民の皆さんに寄り添った公民館を目指します。

2

### 教育委員会で一貫した子育てサポートを行います

教育委員会に「子ども未来係」を設置し、児童福祉も含めて担当します。こどもや子育てに関する様々な課題に一元的にサポートを行えるようにすることで、幼児期から高校まで一貫した子育てを推進し、保護者の負担軽減と子どもたちの健やかな成長を支援します。

3

### 「成年後見制度利用促進室」を設置します

「成年後見制度利用促進室」を保健福祉課に設置し、支援窓口の創設と制度の普及定着化を進めます。

成年後見制度とは、障がいや認知症などによって、ひとりで決めることに不安や心配のある方が、いろいろな契約や手続きをする際にお手伝いする制度です。

4

### 地域創生課と観光商工課が統合し「交流推進課」に変わります

地域創生課(移住定住、空き家、薪エネルギー推進室、ユネスコエコパーク推進係)と観光商工課を統合し、「交流推進課」を設置しました。移住希望者の住居、雇用まで一元的に対応できる体制をつくります。また、只見線や町内の公共交通を観光に生かせるよう観光係で担当します。

## 町下庁舎

階	課名	係名	担当業務(一部)
1階	農林建設係	農林係(農業委員会、土地改良区)	農林水産業の振興、鳥獣被害対策、土地改良、農地
		建設係	道路や河川の維持管理、治山治水、町営住宅
2階	総務企画課 (旧:総務課、 地域創生課)	総務係	町長秘書、職員、統計、広報広聴
		企画係	総合計画、行政改革
		財政係	財政計画及び財政改革、財産の取得管理
	交流推進課 (旧:地域創生課、 観光商工課)	移住交流係	移住定住対策の推進、人口減少対策、空き家対策
		商工労働係	企業誘致、ふるさと納税、駅前の推進
		観光係	観光に係る企画調整、只見線、公共交通
教育委員会	薪エネルギー推進室	薪エネルギーの推進	
	子ども未来係	教育委員会、幼児教育、児童福祉	
3階	議会事務局	文化スポーツ係	芸術文化の振興、文化財保護・活用、体育関係・スポーツ少年団
			議会庶務

## 駅前庁舎

階	課名	係名	担当業務(一部)
1階	会計室		町公金の収入・支出
	町民生活課	町民税務係	戸籍関係、住基関係、町税関係、証明の交付、地縁団体
2階		生活安全係	防犯対策、交通安全、防災、合併処理浄化槽 簡易水道・集落排水の届出・収納、生活排水処理設備等の整備及び営繕

## ブナセンター

課名	係名	担当業務(一部)
交流推進課	ユネスコエコパーク推進係	ユネスコエコパーク、SDGs

## 保健福祉センター

課名	係名	担当業務(一部)
保健福祉課	保健係	国民健康保険、母子保健、後期高齢者医療、検診、健康づくり
	福祉係	高齢者福祉、介護保険、障がい者福祉
	成年後見制度利用促進室	成年後見制度

## 公民館(振興センター)

	担当業務(一部)	
中央公民館	公民館の統括	
	只見公民館(只見振興センター)	生涯学習、地域振興、地域福祉、地域防災
	朝日公民館(朝日振興センター)	生涯学習、地域振興、地域福祉、地域防災、戸籍、住基、諸証明
	明和公民館(明和振興センター)	生涯学習、地域振興、地域福祉、地域防災、戸籍、住基、諸証明

## 保育所

	担当業務(一部)
只見保育所	保育所運営
朝日保育所	
明和保育所	

## 診療所

	担当業務(一部)
朝日診療所	診療所運営

組織の再編により、担当課係の移動等により町民の皆さんをはじめ、関係者各位にご迷惑をおかけいたしますが、ご理解をお願いいたします。

# これが只見町の予算です

## ◆令和5年度只見町予算

令和5年度予算は、第七次只見町振興計画に示した町づくりの理念、基本的施策に基づき、地域の社会経済的な発展を目指し、各種事業へ取り組んでいくための編成となっています。

一般会計の予算規模は57億6,000万円となり、前年度対比1億4,000万円、2.5%の増となっています。また、各特別会計の合計額は28億6,900万円となっており、一般会計と合わせた令和5年度予算総額は85億6,690万円です。

## ◆一般会計 歳入

歳入は、「依存財源」(国や県から入るお金)が69.2%を占め、その中でも地方交付税の割合が最も高く、歳入全体の46.5%を占めています。

また、「自主財源」(町が独自に確保できるお金)では、町税が歳入全体の14.2%で、前年度に比べて1,692万円の増額となっています。繰入金も歳入全体の13.5%で、前年度に比べて2,304万円の増額となっています。

## ◆一般会計 歳出

歳出は、民生費の占める割合が最も高く、前年度比7.5ポイント増の14.8%となっています。主に後期高齢者医療、介護保険、児童福祉、障がい者福祉などの安定した社会生活を保障するための経費です。

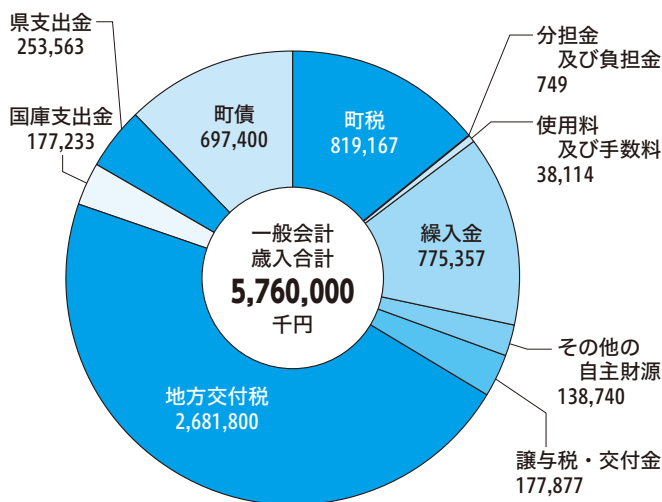
次に、総務費の占める割合が13.2%となっています。人事、財政、移住交流、企画、情報管理、ユネスコエコパーク、戸籍や統計など、他部門に分類されない事業に要する経費です。

次に、土木費の占める割合が12.7%となっています。主に克雪対策事業、除雪機械の整備、町道改良工事、集会施設の整備などを行うための経費です。

次に、公債費の占める割合が12.4%となっています。これは、町債(町の借金)を返済するための元利償還金(元金と利子)です。

続いて、教育費、農林水産業費、商工費、消防費、衛生費、議会費、予備費、災害復旧費、労働費の順になっています。

# 6,000万円



## ■歳入

(単位: 千円)

項目	5年度	構成比	4年度	増減率
町税	819,167	14.2%	802,246	2.1%
地方譲与税	52,296	0.9%	52,296	0.0%
利子割交付金	150	0.0%	240	-37.5%
配当割交付金	1,000	0.0%	1,000	0.0%
株式等譲渡所得割交付金	1,000	0.0%	1,000	0.0%
地方消費税交付金	114,000	2.0%	103,000	10.7%
自動車取得税交付金	1	0.0%	1	0.0%
環境性能割交付金	3,200	0.1%	5,500	-41.8%
法人事業税交付金	4,600	0.1%	4,500	2.2%
地方特例交付金	1,100	0.0%	2,100	-47.6%
地方交付税	2,681,800	46.5%	2,685,500	-0.1%
交通安全対策特別交付金	530	0.0%	600	-11.7%
分担金及び負担金	749	0.0%	1,654	-54.7%
使用料及び手数料	38,114	0.7%	36,934	3.2%
国庫支出金	177,233	3.1%	212,167	-16.5%
県支出金	253,563	4.4%	255,213	-0.6%
財産収入	17,603	0.3%	17,531	0.4%
寄付金	28,001	0.5%	33,001	-15.2%
繰入金	775,357	13.5%	752,313	3.1%
繰越金	1	0.0%	1	0.0%
諸収入	93,135	1.6%	98,603	-5.5%
町債	697,400	12.1%	554,600	25.7%
歳入合計	5,760,000	100.0%	5,620,000	2.5%

## ■歳出

(単位: 千円)

項目	5年度	構成比	4年度	増減率
議会費	72,297	1.3%	72,280	0.0%
総務費	761,679	13.2%	820,044	-7.1%
民生費	857,407	14.8%	797,348	7.5%
衛生費	419,133	7.3%	403,031	4.0%
労働費	3,603	0.1%	9,431	-61.8%
農林水産業費	551,001	9.6%	485,357	13.5%
商工費	472,605	8.2%	609,433	-22.5%
土木費	731,135	12.7%	732,561	-0.2%
消防費	430,635	7.5%	317,781	35.5%
教育費	692,513	12.0%	649,667	6.6%
災害復旧費	13,498	0.2%	13,510	-0.1%
公債費	711,601	12.4%	673,344	5.7%
予備費	42,893	0.7%	36,213	18.4%
歳出合計	5,760,000	100.0%	5,620,000	2.5%

## ■町税の内訳

町民税	1億5,168万8千円
固定資産税	6億3,130万6千円
軽自動車税	1,476万円9千円
町たばこ税	1,894万3千円
入湯税	246万1千円

町民一人あたりにすると (3月1日現在人口 3,939人)

■一般会計支出額(使われるお金の額) ..... 1,462,300円

■町税負担額(納めていただくお金の額) ..... 207,963円

# 令和5年度の主な事業

## ■自然と共生するまちづくり

- 自然保護意識の醸成
  - 1,969万円 プナセンター関連事業
  - 1,590万円 ユネスコエコパーク推進関連事業
- 雪と共存するまちづくり
  - 11,682万円 除雪機械更新事業
  - 1,850万円 高齢者等除雪支援事業
  - 1,000万円 大雪対策事業補助金
- 道路網の整備と定住環境の整備
  - 5,665万円 道路補修事業
  - 1,571万円 空家利活用対策事業
  - 1,054万円 道路新設改良事業
- 水環境の保全と上下水道の整備
  - 13,032万円 只見統合簡易水道整備事業
  - 10,493万円 集落排水施設機能強化事業

## ■文化に根づく人づくりと学び続けるまちづくり

- 将来の只見を担う子どもたちの教育の充実
  - 8,215万円 只見高等学校振興対策費
  - 6,055万円 スクールバス運行費
  - 1,451万円 学校給食費負担軽減事業
- 家庭教育力・地域教育力の向上
  - 2,327万円 地域学校協働活動推進事業
- 地域文化の振興（地域で育まれた人の技・物・食の伝承）
  - 2,603万円 ただみ・モノとくらしのミュージアム費
  - 706万円 八十里越調査事業
- 生涯スポーツ・レクリエーションの推進
  - 728万円 トレーニング機器整備事業

## ■住民が主役のまちづくり

- 集落・振興センターでの住民交流を主体とした地域づくり
  - 2,398万円 集舎施設整備事業
  - 920万円 集落運営支援交付金
  - 900万円 自然首都只見地域づくり推進交付金
- 新たな視点による地域づくり
  - 1,710万円 移住定住促進事業
- 総合的な土地利用・公共交通体系の確立
  - 4,185万円 地域公共交通運行事業
  - 4,035万円 只見線利用促進事業

## ■住みやすいまちづくり

- 健康でいきいきと暮らせるまちづくり
  - 626万円 特定健診等事業
- 安心して子どもを産み育てられるまちづくり
  - 1,177万円 子ども医療費無料化事業
  - 367万円 子宝祝い金事業
  - 194万円 幼児家庭保育支援事業
- 高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくり
  - 140万円 シルバー人材センター推進事業
- 安心して暮らせるまちづくり
  - 3,033万円 消防団機材等整備事業
  - 440万円 消火栓等新設改良事業

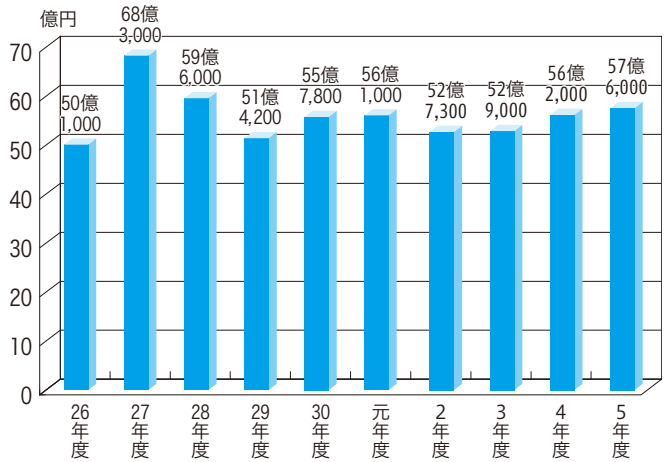
## ■働きがいのあるまちづくり

- 受け継ぎす、プライド農業の実践
  - 5,613万円 農業振興費
  - 939万円 鳥獣被害対策事業
- 豊かな森林を活かした林業の振興
  - 9,104万円 新エネルギー推進事業
  - 1,916万円 林業振興費
- 活力と賑わいそして持続ある商工業の確立
  - 2,620万円 プレミアム商品券発行事業
- 地域経済の発展を担う魅力ある観光の推進
  - 9,000万円 観光、交流施設指定管理料
  - 2,000万円 雪まつり実行委員会補助金
  - 1,603万円 インフォメーションセンター運営事業
  - 484万円 観光アプリ導入事業
- 産業間連携による地域経済の発展
  - 1,100万円 特定地域づくり事業協同組合補助金

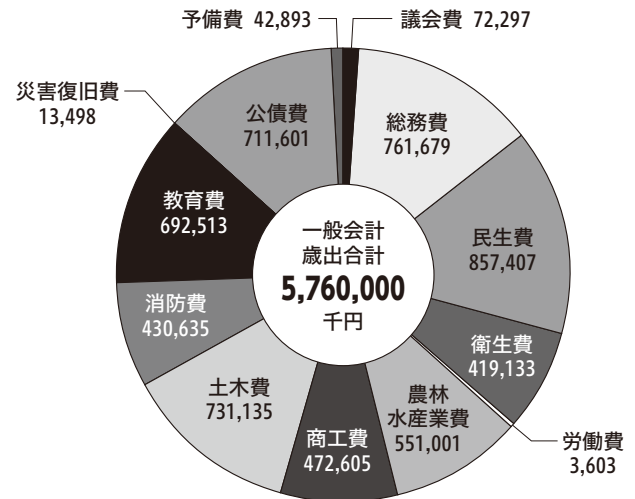
お金はどこから来て、どこへ行くの？

## ■一般会計当初予算額の推移

(単位：万円)



# 一般会計 予算総額 57億



## ■特別会計予算

(単位：千円)

会計区分	5年度	4年度	増減率
国民健康保険事業特別会計	470,000	500,000	-6.0%
国民健康保険施設特別会計	437,000	428,000	2.1%
後期高齢者医療特別会計	151,000	143,000	5.6%
介護保険事業特別会計	766,000	783,000	-2.2%
介護老人保健施設特別会計	309,000	302,000	2.3%
地域包括支援センター特別会計	8,500	14,000	-39.3%
簡易水道特別会計	279,000	166,000	68.1%
集落排水事業特別会計	370,000	318,000	16.4%
朝日財産区特別会計	16,400	16,600	-1.2%
合計	2,806,900	2,670,600	5.1%

4年ぶりの開催

只見地区

## 只見振興センターまつり

明和地区

## 明和公民館まつり

朝日地区

## 朝日のいいもの集めちゃった市

第21回朝日のいいもの集めちゃった市（朝日振興センター）は3月5日、第7回只見振興センターまつり（只見振興センター）と第33回明和公民館まつり（明和振興センター）は3月12日に開かれ、地元地区の方をはじめとする多くの方が来場し、各振興センターが賑わいました。

当イベントは、新型コロナウイルスの影響により、過去3年間は中止または作品展示のみとなり、4年ぶりの開催となりました。

つる細工体験など地元文化に触れられるものからビンゴ大会など、地区ごとに趣向を凝らした企画が用意され、子どもから大人まで皆が楽しみました。

### ◎只見振興センターまつり



▲ニューススポーツ体験も多くの人で賑わいました



▲各種体験講座も満員御礼でした（写真は折り紙講座）



▲コーラス・はなみずきの皆さんの美しいハーモニーが会場に響きました

### ◎朝日のいいもの集めちゃった市



▲フリーマーケットには、たくさんのいいものが並び、来場者は足を止めて品定めをしていました



▲凧作り体験は2回開催され、2回とも満席でした



▲ちびっ子限定ビンゴ大会が始まるとたくさんのお子どもたちが集まりました

### ◎明和公民館まつり



▲会場には多くの作品が出展されました



▲明和保育所園児が素敵なダンスを見せてくれました



▲大倉子供会が大倉八木節を披露しました



持続可能な社会の担い手を育てる  
「只見町立小中学校ESD地域成果発表会」開催



▲発表を聞く小中学生や町民の皆さん

「只見町立小中学校ESD地域成果発表会」が2月22日に只見町教育委員会の主催で開催されました。発表会には町内3小学校の5、6年生と只見中学校SDGs委員会の他、只見町教育委員会とESDパートナー協定を結んでいる只見町建設業協会と株式会社東邦銀行只見支店が、発表者として参加しました。各小中学校は授業をとおして学んだことを発表し、2事業者はSDGsの達成を目指して、町のために行っている事業などを報告しました。

新たなステージに向けて  
山村留學生送別会が行われました



▲悩んだり困ったりしたときは只見町での経験や仲間を思い出してください

「第19期只見町山村教育留學生送別会」が2月28日に只見振興センターで行われました。第19期生の5人は、「雪の上で滑って転んだり、地元では体験できないことをたくさん経験しました」、「コロナで不自由な中、寮のスタッフの皆さんの手厚い対応のおかげで安心して生活を送れました」と話し、後輩やお世話になった方や只見町にお別れを告げるとともに、新たなステージでの決意表明などを行いました。○山村教育留學制度とは、町外の生徒が只見町を第2のふるさととして、生涯を通じて交流することを目的とした制度です。

区民同士が繋がる場所に  
下福井集会所落成式が行われました



▲新集会所の落成、おめでとうございます

下福井集会所施設の落成式が3月19日に行われました。下福井区は、旧集会所施設の経年劣化や耐震強度不足が確認されたことから、建替えの検討を進めました。令和2年度に備準備検討委員会を設置し計画概要の作成を行いました。それを基に推進委員会で、視察研修を行い、場所の選定や施設規模、間取り等の検討を進めました。下福井集会所施設は、バリアフリーに配慮された施設となっている他、多目的トイレは外からも利用できるようなっています。また同日に、下福井区出身で「お菓子の城・那須ハートランド」創業者の片桐俊輔氏の顕彰展示除幕式も行われました。

選挙の管理執行等に貢献  
町選管「福島県選挙管理委員会委員長表彰」受賞



▲町選挙管理委員長の舟木和一さんが深谷一夫局長より伝達をうけました

只見町選挙管理委員会が、第26回参議院議員通常選挙に係る「福島県選挙管理委員会委員長表彰」を受賞し、3月22日に伝達式が行われました。第26回参院選において、町内の投票率が南会津管内の自治体で唯一前回から上昇したことや、投票率が県平均を大きく上回ったことなどから、町選管が啓発推進等に貢献したとして表彰されました。町民の皆様には、選挙に対し深いご理解をいただき、また明るい選挙の推進にご協力いただきありがとうございます。

## 満100歳、おめでとうございます 小沼トミエさんに 知事賀寿が伝達されました

小沼トミエさん（黒谷）が満100歳をむかえられ、知事賀寿贈呈式が2月27日に只見ホームで行われました。

式では、渡部町長から賀寿状の伝達式が行われた他、お祝いの品や花束などが町議会や町社会福祉協議会、町老人クラブ、只見ホームから贈呈されました。

長生きの秘訣は「しっかり3食食べること」とのことです。

これからも、しっかり3食食べて、元気に長生きしてください。



▲100歳賀寿おめでとうございます

## 福島民報ジュニアチャレンジグランプリ表彰式会場で寄附を募る 角田杏さん 只見線の利活用のために町に寄附



▲角田さんは「これからもっと盛り上げる必要があります。楽しい只見線にしたいです」と今後の活動の決意を述べました

角田杏さん（明和小6年）は3月1日に町役場を訪れ、JR只見線の利活用に役立ててもらおうと町に3万6,564円を寄附しました。

角田さんは、昨年10月の只見線全線運転再開を前に沿線地域を盛り上げようと只見線全駅を自転車で巡り、その記録や感じたことを発信するため福島民報社の「ふくしまジュニアチャレンジ」に応募し、活動部門のグランプリに選ばれました。

今回の寄附金は表彰式会場で来場者から募ったもので、「只見線にずっと走り続けてほしいです」と角田さんから渡部町長に寄附金が手渡されました。

## 友達と只見線で思い出づくり 「只見線で行く、只見高校プチ卒業旅行」開催

「只見線で行く、只見高校プチ卒業旅行」（以下、卒業旅行）が3月1日の只見高校卒業式終了後に行われ、只見高校卒業生のうち希望者6人が参加しました。

卒業旅行は、只見駅から会津川口駅間をJR只見線に乗車し往復するコースで、列車の進行に合わせ只見線地域コーディネーターの酒井治子さんがガイドを務めました。また、各集落や駅では、地域の方が卒業生を祝福する横断幕などを飾り手を振るなどして、卒業生をお祝いしました。

参加した大竹優真さんは「多くの人にお祝いしていただいて、うれしかったです。只見線の魅力と地域の皆さんの温かさを改めて感じました」と感想を述べました。



▲ご卒業おめでとうございます

## ひなまつりを楽しみました

### かるがもクラブ「ひなまつり」

令和4年度最後のかるがもクラブが3月3日に行われ、15組の親子が参加しました。

始めに遊びをとおして親子の触れ合いを楽しんだ後、ひな飾りを作るなどし、ひなまつりを楽しみました。また、参加者同士で子育ての意見交換が行われたり、子どもたちがのびのびと遊んだりし、有意義な時間となりました。

なお、令和4年度に開催されたかるがもクラブの様子が、保健福祉センターの保健室に掲示されています。参加された方やかるがもクラブに興味のある子育て中の方など、機会がありましたら是非ご覧ください。



▲令和4年度最多の参加者数となりました

## 冬の只見町を見る

### ブナセンター自然観察会「積雪期のブナ林観察会」



▲雪上で紙谷館長の解説を聞く参加者

只見町ブナセンターの主催で「積雪期のブナ林観察会」が3月11日に開かれ、深沢集落内及びその周辺に広がるブナ林などで、ブナの大木や冬芽、冬の雪食地形を観察しました。

観察会には、ブナセンターの紙谷館長が同行し、ブナの受粉方法やその特性にあわせたブナ林保全の在り方、豪雪の圧力によるスギとブナの根曲がり、また根曲がり材の特殊性について解説しました。

参加者は、かんじきやスノーシューなどを装着して雪上を歩き、観察会をとおして冬の只見町を満喫しました。

## 日本農業賞「食の架け橋の部」

### 合同会社ねっか「特別賞」受賞

全国農業協同組合中央会などが主催する「第52回日本農業賞」の「食の架け橋の部」で、合同会社ねっかが「特別賞」を受賞しました。

合同会社ねっかは、過疎や高齢化、稲作農家の担い手不足などの課題解決に向け、只見産米と水を使った米焼酎「ねっか」を製造しています。また、地域に子どもたちが残って欲しいとの思いで、子どもたちに田植えや稲刈りの体験する機会の提供もしています。

これらの取組みが、農業者と消費者を結ぶ優れた活動や未来の豊かな生き方、地域づくりのヒントとなる活動として認められ、「食の架け橋の部」の特別賞を受賞しました。



▲脇坂さんと三瓶さんは「子どもたちのSDGsの取組みに農業者としてできることをやってきた結果で、子どもたちのおかげでいただいた賞です」と話しました

## 持続可能な地域社会の発展のために

# 「只見ユネスコエコパーク推進協議会」開催

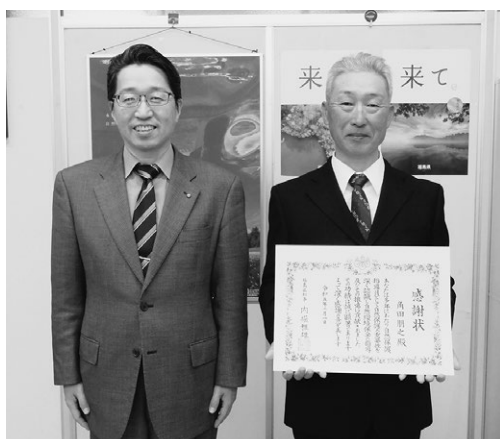
「第16回只見ユネスコエコパーク推進協議会」が3月15日に只見振興センターを会場に開催されました。

協議会では、各構成員から令和4年度のユネスコエコパーク事業活動の報告があり、自然環境の保護・保全や、人材育成・調査研究、地域社会の発展に関する多様な事業が共有され、それらに対する意見交換が行われました。

また、只見町がユネスコエコパークに登録されてからの経過や取組みをユネスコに報告するための報告書作成のスケジュールや国道289号八十里越の開通に向けての取組み、ダム堆砂処理についての協議が行われました。



▲SDGsへの関心も高まる中、只見ユネスコエコパークとしてどのような取組みを行うのかなど活発な意見交換が行われました



▲感謝状の伝達を受けた角田さん(右)

## 只見町の自然を守る

# 角田朋之さんが 知事感謝状を受賞

福島県自然保護指導員に対する知事感謝状の伝達式が3月16日に南会津地方振興局で行われ、角田朋之さん（小林）が感謝状の伝達を受けました。

角田さんは、福島県自然保護指導員として、浅草岳や会津朝日岳などを含む担当地域において、美化清掃活動や訪問者の安全確保の活動を行い、担当区域の自然環境の保全に尽力していることが認められ感謝状が贈られました。

## 冬の只見町を楽しむ

# 「ただみスノースポーツフェスティバル」開催

NPO法人ただみコミュニティクラブの主催で「ただみスノースポーツフェスティバル2023」が、3月19日に亀岡サンドバレーコートで行われました。

開会式後、渡部町長と平山理事長による始球式が行われました。

会場では、雪上バレーボールや雪上フットサルの他に、雪上フレスコボールや雪上スパイクボールなどが行われ、参加者は雪上でのスポーツを楽しみました。



▲参加者は「雪上での競技は普段とは違う楽しさがありました」と話しました

フレスコボール…味方同士でボールを落とさずにラリーを楽しむスポーツ

スパイクボール…中央に置いたトランポリン状のネットにボールをバウンドさせて、バレーボールのように最大3回までのタッチで相手に返球してラリーを楽しむスポーツ

## 只見町で初の大学生サミット

### 「大学生サミット2023 in ただみ」開催

令和3年度から4年度まで只見町で様々な取組みを行った大学生（団体）による報告会「大学生サミット2023 in ただみ」が3月20日に開催しました。

第1部では、福島学院大学木村ゼミ、福島大学 F-cation サークルホップ、東北芸術工科大学建築環境デザイン学科、宇都宮大学 D-friends、<sup>エフケイション</sup> 緋熊と黒潮の5団体が、SNSを活用し集落の情報を発信する取組みや、三石神社の参道整備の取組みなどについて報告しました。

第2部では、「学生団体と只見町の関係を持続させるには」のテーマでワークショップが行われました。ワークショップでまとめられた内容は、大学生や地元関係者からの意見として、町へ提出される予定です。



▲報告をする学生の皆さん

## あの感動から1年、感謝の気持ちを込めて

### 只見高校野球部甲子園出場記念プレート贈呈式



福島県立只見高等学校野球部  
甲子園出場記念プレート贈呈式

▲大堀相馬焼錨屋窯代表の山田さんは「只見高校の試合に大変感動しました」と話しました

只見高校野球部の第94回選抜高等学校野球大会出場（以下、センバツ）を記念したプレートの贈呈式が、1年前に只見高校野球部が甲子園で試合を行った日に合わせ、3月22日に行われました。

贈呈式では、只見高校野球部甲子園出場後援会から、野球部がセンバツに出場した記念と関係者への感謝を込めて、長谷川監督、只見町、只見高校、応援に駆け付けた柏市にプレートが贈られました。記念プレートは、大堀相馬焼錨屋窯で制作され、当時の出場メンバーや監督などの名前とともに、疾駆する走り駒が描かれています。

## 只見線をとおした町の活性化のために

### 只見高校生が町に寄附

只見高校の総合的な探究の時間の只見線商品開発班（以下商品開発班）に所属する只見高校生2年生の大竹未桜さん、鈴木詠大さん、永山權都さん、山本愛佳さんが役場を訪問し、寄附金11,520円を寄附しました。

今回の寄附は、商品開発班が企画し開発した商品「只見線まぐねっと」の売上の一部から、寄附されたものです。

寄附当日は、都合により、リーダー目黒元基さん、副リーダー川崎岳さんは参加できませんでしたが、皆で只見線を盛り上げたいという気持ちで寄附に来庁されたそうです。



▲寄附に訪れた4人は、「デザインをいくつか考えて、中でも只見線の商品として個性あるものになりました。思った以上の評判に驚きました」と話しました。

## 広報ただみ診療所

朝日診療所 所長 わかやま 若山 たかし 隆



今回の広報ただみ診療所では、子宮頸がんワクチンのお話をさせていただきます。

厚生労働省のパンフレットによると、日本で毎年約1.1万人の女性が子宮頸がんになり、毎年2900人の女性がなくなっています。一生のうち子宮頸がんになる人は70人に1人ぐらいとなるそうです。患者さんは20歳代から30代の若い女性に多く、がんによって子宮を失って妊娠できなくなってしまう方も年間約1000人いるそうです。子宮頸がんは、HPV（ヒトパピローマウイルス）感染が原因とされます。一度でも性的接触の経験があれば、だれでも感染する可能性のあるウイルスであり、女性の多くが“一生に一度は感染する”と言われ、感染した一部の人でがんになってしまうことがあります。このHPVウイルスに対するワクチンが子宮頸がんワクチンです。ワクチンの有効性は非常に高く、2023年4月から定期接種となったシルガード®9というワクチンであれば、子宮頸がんを90%以上減らせるとされており、とんでもなく高い効果です！これを受けない手はありません。

子宮頸がんワクチンは12歳になる日の属する年度の初日から16歳になる日の属する年度の末日までの間にある女子の方（小学校6年生から高校1年生の年齢に相当する女子）が対象ですが、中学生以上の接種をお勧めしております。定期接種ですので無料で受けられます。接種をご希望の方は保健福祉課か朝日診療所までお問い合わせください。子宮頸がんワクチンは、副反応を過度に恐れるあまり、定期接種ではなかった時期があり、その年代の方（平成9年生まれ～平成18年生まれ）の接種も実施できます。高校2年生以上で接種をご希望の方は保健福祉課にご相談ください。

## 地域おこし協力隊として Vol.100

「只見での山村留学」を支えるために

只見町教育振興協力隊 にわ 丹羽 たかかず 貴一



こんにちは。只見高校魅力化コーディネーターの丹羽です。

只見町に暮らし始めてもうすぐ3年の私は、山村留学生と同じ奥会津学習センターで暮らしています。留学生たちは親元を離れて15歳で一人暮らしを始めますが、本当にすごいことだなとも感じます。心細くなることも、ときには辛くなることもあるはずですが。

掃除や洗濯といった身の回りの自立も大変ですが、知らない土地、習慣や文化、初めての人間関係の中で、家族のいない状態で、ひとつずつを自分で受けて止め、日々を暮らしていくことは大きなストレスが伴うことです。私自身10ヶ月ほど海外で暮らした経験がありますが、新天地での暮らしは楽しさもストレスも多くありました。「海外留学」と同じくらいにエネルギーのいる一歩を踏み出して、山村留学をしているみなさんにいつも敬意をもってしています。

奥会津学習センターのスタッフの方々は、そんな山村留学生に日々向き合い、支えてくれています。食事の栄養バランス、健康な生活環境の整備、留学生活での悩みや課題へのサポート。こうした支えのおかげで、留学生たちの日常が保たれています。高校生として学び成長していく上で、その土台には安心安全な暮らしがなくては成り立ちません。旅が楽しいのは戻れる家や居場所があるからで、留学生にとって奥会津学習センターでの暮らしがそれにあたります。

そして、自分の夢や目標に向かって進むためには、人との繋がりをつくることもとても大切です。クラスや部活の仲間、学校の先生はもちろん、自分を気にかけてくれる存在や頼れる存在が町の中にたくさんあると、留学生たちは安心して様々な機会に飛び込んでいくことができます。時に迷ったり失敗しても、助言や励ましをもらってまた次の機会に飛び込んでいくことができます。

農家民泊などの体験はそういった繋がりを育む最良の機会のひとつです。新型コロナウイルスの影響で様々な機会を一度失いました。それを現在の状況に合う形で創りなおし、町の人と留学生の豊かな繋がりづくりができるよう、私も取り組んで参ります。

発見!

# たからモノ ただみの文化遺産

第1回

## 「日米友情の人形」

### 平和と戦争を見つめる青い目の人形



▲現在展示中の雛人形と日米友情の人形



▲日米友情の人形

只見町立只見小学校蔵（当館保管）  
制作：アメリカ・ホースマン社 銘：ELH©  
年代：1927年来日 大きさ：34.8cm



▲スリーピング・アイの人形

1912年（明治45）に日本からアメリカに3000本の桜が贈られワシントンに植えられたころは、両国は友好関係でしたが、1920年代に關係は悪化しました。世界児童親善会のギュリック氏は、關係悪化を心配して、両国の子どもが友だちになり、友情を築いておとなになったとき、両国に戦争が起こらないようにという願いを、人形を通じて伝えようしました。アメリカの子どもや親たちが寄付を集めて日本に人形を贈り、日本中の子どもたちが人形を飾るという、両国の子どもどうしの交流で友情と好意の心を育てようという理念です。日本では実業家の渋沢栄一氏（2024年から1万円札の肖像画）が、日本国際児童親善会を設立して受け入れました。

1927年（昭和2）2月に、11975体の「友情の人形」（Friendship-Doll）が日本に着き歓迎されました。3月の雛人形といっしょに飾ってもらうために時季が選ばれ、日本各地（台湾・朝鮮を含む）の小学校や幼稚園に分けられました。福島県に323体、南会津郡に7体、その一つが只見の伊北尋常高等小学校に来ました。それが只見小学校の人形です。

その後、1937年（昭和12）に日本と中国との戦争がはじまり、1941年（昭和16）にアメリカを含む諸国と太平洋戦争が起こりました。1943年（昭和18）に、日本中の青い目の人形は、「敵性」（交戦国のもの）として、子どもたちの前で壊され処分されました。

只見の人形は、小学校の先生たちが、人形には罪はない、という気持ちから、校内の目立たない所に納めて、“人形はすでに処分した”と報告したそうです。1973年（昭和48）に日本各地で「日米友情の人形」が再発見されたころ、只見小学校でも玄関近くに飾られました。

現在残っている友情の人形は、約300体（2.5%、福島県では19体）ですが、各地に人形を守った人々がいました。只見の人々がこの人形を守ったから、「日米友情の人形」の現物を、只見で見ることができるのです。平和と戦争を見つめてきたこの人形は、私たちに国を越えた友情の大切さを語りかけています。只見で日本史・世界史を語る文化遺産です。これからはモノとくらしのミュージアムで保管し、7段飾りの雛人形（朝日保育所寄贈）といっしょに「日米友情の人形」を展示していきます。人形が来てもうすぐ100年です。

文：久野俊彦  
写真：原永円香



## ただみ・モノとくらしのミュージアム 展示情報



### 第1回テーマ展「ただみ・冬のくらし」

会期：1月31日（火）～5月28日（日）

場所：ただみ・モノとくらしのミュージアム 展示ホール



# 町民文芸

## 只見短歌会 令和五年三月詠草

嫁ぎ行く吾がため米と換へくれし鏡台は今も母と思へて  
馬場 八智

束ね藁手櫛でほぐし苞を編む良き仕上がりと豆包み込む  
目黒 富子

我が家の傍らにある校庭の残雪の山春陽輝く  
関谷登美子

通勤の車窓から見る高校生歩幅揃へて歩く青き春  
立花 奏音

古い母の体重減少喜べど日に日に減れば不安になるも  
新国由紀子

安らかな顔の浮かびし如月の真白き雪は亡母の面影  
渡部ヨリ子

入退院繰り返しつつ日を過ぎすわれの周りの視野は狭しも  
故 新国 洋子（遺作）

## 只見俳句会 三月定例会

春浅しわが影もなく息白く  
夕波のおと白梅の宿にいて  
紺 青

薪棚をこつそり減らす二月尽  
水仙のあふれて道を照らすかに  
恒 夫

誰も居ぬ居間を灯せる余寒かな  
ひらひらとかな文字のごと春の雪  
礼

今日よりは晩酌休むと炬燵夫  
入学前親子で歩く学校まで  
一 穂

腰痛を堪えし朝も寒波なり  
浅雪となりて戦い終わりける  
修 一

日高俊平太 指導

待ち望む独裁者なき春の夢  
お雛様飾る侘しき一人酒  
信

ランドセル背負いて見てる鏡前  
浅春や野も里も色めどめどる  
都

春きざし病後の夫に予定なし  
受験生洋書の下のまんが本  
味代子

押入れに祖母の作りしちやんちゃんこ  
夕餉時戸を開けしまま雪山を  
真理子

節分や親子で語る想い出話  
「お久しぶりね」友とかわす朝茶一杯  
睦 子



# 今月のお知らせ

## 電話番号

総務企画課	総務係	企画係	財政係	☎82-5210																							
町民生活課	町民税務係	生活安全係	保健福祉課	保健係	福祉係	成年後見制度利用促進室	☎82-5110	☎82-5100	☎84-7005	☎84-7010																	
農林建設課	農林係	建設係	交流推進課	観光係	商工労働係	移住交流係	薪エネルギー推進室	ユネスコエコパーク推進係	(ただし・ブナと川のミュージアム内)	☎82-5230	☎82-5270	☎82-5240	☎82-5220	☎82-5963													
会計室	議会事務局	農業委員会	教育委員会	学校給食センター	只見保育所	朝日保育所	明和保育所	朝日診療所	(歯科)	こぶし苑	只見振興センター	朝日振興センター	明和振興センター	☎82-5120	☎82-5300	☎82-5230	☎82-5320	☎84-7180	☎82-2219	☎84-2038	☎86-2249	☎84-2221	☎84-2612	☎84-2101	☎82-2141	☎84-2111	☎86-2111

## 人事

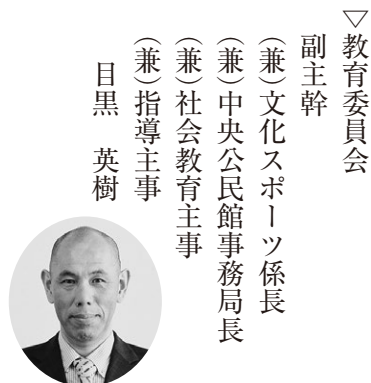
### 只見町新規職員

●退職など  
(3月31日付)

- ▽保健福祉課 長谷川 望
- ▽保健福祉課 渡部 莉子
- ▽町民生活課 渡部 一昭
- ▽教育委員会 阿久津聖子
- ▽教育委員会 仲丸 和宏
- ▽保健福祉課 上杉 綾乃  
(福島県派遣職員)

### ●新規職員(4月1日付)

- ▽保健福祉課 福祉係(兼) 成年後見制度 利用促進室 渡部 俊
- ▽保健福祉課 交流推進課 移住交流係 吉津 千晶
- ▽町民生活課 生活安全係 新国 拓真
- ▽農林建設課 建設係 渡部 怜央



### ●任期付職員(4月1日付)

- ▽教育委員会 副主幹 目黒 英樹
- (兼)文化スポーツ係長
- (兼)中央公民館事務局長
- (兼)社会教育主事
- (兼)指導主事
- ▽保健福祉課 主幹(兼) 成年後見制度 利用促進室長 橘 一明  
(南会津町派遣職員)
- ▽保健福祉課 保健係 横山 智美  
(福島県派遣職員)
- ▽交流推進課 観光係 渡部 一昭
- ▽教育委員会 子ども未来係 越智めぐみ



## 葛西龍樹先生 ありがとうございました

葛西龍樹教授が3月31日をもって福島県立医科大学を退任されました。  
只見町の診療指導にご尽力いただきまして誠にありがとうございました。

## 税 今月の納期

4月25日までに納めましょう  
●固定資産税(1期分)  
●農集排使用料(4月分)



# 広報ただみ町長室

只見町長 渡部 勇夫

◆3月の卒業式そして4月の入学式に出席し、ようやく子どもたちの歌声を聴くことができるようになりました。当たり前のように歌うことができなかつたこの3年間、どんなに辛かつたでしょう。どんなに悔しかつたでしょう。

目頭が熱くなるのを感じました。涙が流れそうになるのをどうにか抑えることができました。

児童生徒すべての皆さんの健やかな成長を心から願うとともに、ご指導していただく教職員の皆様に改めて敬意を表したいと思います。

子どもたちを何卒よろしくお願い申し上げます。

◆4月から役場組織の一部を再編しました。

しばらくの間、馴染まれるまでご不便をおかけいたします。ご理解をお願いいたします。

再編の目的別に簡単に申し上げます。

①子どもの健やかな成長です。情緒性や社会性を育み学力の向上とともに、生きる力を育むための「認定こども園」の設置を視野に入れた児童福祉（保育所含）と教育委員会の一元化です。

②観光や企業誘致、移住、事業者の後継者問題等を「人の流れ」から捉え、交流人口を増やすための交流推進課の設置です。

③社会人が学習する場づくりとして、人口減少などを起因とする地域福祉・生活支援問題や、防災・防犯などの課題を行政や関係者だけでなく「いつか来る私の問題」、「私の住む町をこうしたい」という「自分ごと」として捉え、皆で学び、提案していくための「中央公民館」の設置です。

まずは、目標を掲げそれに向かって取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 町長スケジュール〈3月分〉



- |     |  |     |   |
|-----|--|-----|---|
| 1日  | 只見町議会3月会議（～10日）、只見高校卒業証書授与式、只見線で行く、只見高校プチ卒業旅行 記念品贈呈、角田杏さん只見線応援募金寄附来庁 | 22日 | （株）季の郷湯ら里定期取締役会、只見高校野球部甲子園出場記念プレート贈呈式、葛西龍樹医師退任挨拶来庁                |
| 4日  | 中村和彦先生山梨大学長就任記念講演会（郡山市）  | 23日 | 朝日小学校卒業証書授与式、電源開発（株）東日本支店年度末挨拶来庁、阿賀川河川事務所長挨拶来庁、NPO法人あおいすず上野代表挨拶来庁 |
| 5日  | 朝日のいいもの集めちゃった市   | 24日 | 福島県知事来庁、雪まつり実行委員会、只見高校只見線商品開発班寄附来庁                                |
| 12日 | 明和公民館まつり   | 25日 | 五十嵐司氏旭日双光章受章祝賀会（南会津町）   |
| 13日 | 只見中学校卒業証書授与式、会津を拓く講演会（会津若松市）   | 27日 | 「地域探究プログラム」文科大臣表彰報告会（南会津高校堀金康太郎）                                  |
| 14日 | 「日本農業賞食の架け橋の部」特別賞受賞報告（合同会社ねっか）、ユネスコエコパーク連絡調整会議                       | 28日 | 社会福祉法人南会津会理事会、町小中学校教職員離任挨拶来庁                                      |
| 15日 | 自衛隊郡山駐屯地新任大隊長挨拶来庁、ユネスコエコパーク推進協議会、電源開発（株）東日本支店長補佐来庁                   | 29日 | 南会津地方環境衛生組合管理者会・同議会臨時会、南会津地方広域市町村圏組合管理者会・同議会臨時会                   |
| 17日 | 臨時庁議   | 30日 | 只見町土地改良区理事会・総代会、南会津警察署長着任挨拶来庁                                     |
| 19日 | ただみスノースポーツフェスティバル、下福井集会所施設落成式、春木山体験                                  |     |   |

# 町民の消息

(2月26日～3月25日届出分) 敬称略

## ■お誕生おめでとうございます

小林 海 (男/祐太・梓) 福井

## ■おくやみ申し上げます

梁 取 英 子	91歳	坂 田
馬 場 俊 子	92歳	只 見
横 田 タミヨ	83歳	大 倉
齋 藤 房 子	97歳	亀 岡
新 國 洋 子	95歳	只 見
角 田 哲 哉	92歳	熊 倉
鈴 木 章 一	80歳	只 見
小 林 トキ子	80歳	只 見

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

令和5年3月1日現在

人 口	3,789 (-12)
男	1,881 (-4)
女	1,908 (-8)
世帯数	1,580 (-2)
高齢化率	48.9%

※高齢化率は、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 1 転出 7 出生 2 死亡 8

▽ご卒業された皆さん、おめでとうございます。新たな門出に緊張している方もいるかもしれませんが、人生の大きな節目は、皆さんをきつと大きく成長させてくれるきっかけになると思います。辛いときは仲間のことを思い出して、一歩ずつでもいいので頑張ってください。

▽気が付けば広報担当になり、3年が経ちました。皆さんに助けられながら、なんとか務めることができました。ありがとうございます。引き続き新年度もよろしくお願いたします。(小林)

## あとがき

## 只見振興センター 図書紹介

只見振興センター図書室  
☎82-2141

# おすすめ新着図書

## ★さかなくん



しおたにまみこ(偕成社)

さかなくんは小学生。さかなですから、水の中で暮らしています。学校に行くときは、ゴムのズボンをはいて、水でいっぱいヘルメットをかぶって、ひれにクリームを塗って…と、ひと仕事。

けれども、きゅっきゅと歩いて通う小学校が、さかなくんは好きなのです。ただひとつ、体育の時間だけはきらいでした。走るのが苦手なさかなくんは、リレーで転んでしまい…。

さかなくんの暮らす世界を、柔らかなタッチで丁寧に描いた一作です。

## ★「静かな人」の戦略書

—騒がしすぎるこの世界で  
内向型が静かな力を発揮する法



ジル・チャン  
(ダイヤモンド社)

台湾発の世界的ベストセラーが日本に上陸!

「静かで控えめ」は最強の武器。聞く力、気配り、謙虚…「静かな人」には数々の潜在能力がある。外向型が優位な世界で、内向型こそその魅力を最大限に発揮する方法とは？

自身も内向型であるという著者が、様々な職場で培った知恵や経験をまとめたビジネス書です。控えめな自分に自信が持てない人にとって、この本は強い味方となってくれるはず。

○只見振興センターではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。

## 町民憲章

- ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう



## アワガタケスミレ

(写真・文 太田祥作)

(学名: *Viola awagatakensis*)

【スミレ科】



厚く地面を覆っていた雪が解け、草木が次々と芽吹く4月には、様々なスミレが咲きそろいます。湿地周辺では白色のツボスミレ、山の尾根筋では黄色のオオバクスミレ、乾いた林床には薄桃色のマキノスミレ、湿った林床には稀にエイザンスミレなど、環境によって異なるスミレが花を咲かせます。薄青いたちツボスミレの仲間は、平地から山地まで様々な環境で見られ、ときには木の窪みのコケの上に生育する株もあるほどです。

さて、今回紹介するアワガタケスミレは、日当たりの良い岩場や斜面の崩壊地に生育します。小さめで厚く光沢の強い葉をもち、その基部が直線状となっているのが特徴です。花は上品な薄紫色をしており、蜜が溜まる<sup>きよ</sup>「距」という部分が、煙突のように後方に長く突き出しています。

アワガタケスミレという和名は、新潟県の加茂市と三条市に跨る<sup>またが</sup>粟ヶ岳<sup>あわがたけ</sup>で発見されたことに由来します。分布の狭い種で、新潟県、山形県、そして福島県の3県からしか見つかっておらず、環境省のレッドリストでは準絶滅危惧に選定されています。福島県内では喜多方市以西の会津地方にのみ分布しており、その局所性・希少性から、福島県のレッドリストでは絶滅危惧II類に選定されています。

そんな珍しいアワガタケスミレですが、只見町では要害山などの登山道や、山裾の路肩などで比較的容易に観察することができます。この地域ならではのスミレです。ぜひ探してみてください。

### 只見町ブナセンターからのお知らせ

「ただみ・ブナと川のミュージアム」では下記企画展を開催中です。皆様のお越しをお待ちしております。

#### 企画展「雪国のブナを極める」

会期：2023年4月15日(土)～7月24日(月)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

また、4月には下記観察会を開催予定です。詳細は只見町ブナセンター(0241-72-8355)までお問い合わせください。

#### 「春から初夏の野鳥観察会」1回目

日時：4月23日(日) 9:00～12:00

集合：叶津集会所駐車場に9:00集合 ※事前予約制